

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	上伊那地域移住定住事業
事業主体 (連絡先)	上伊那広域連合 伊那市荒井 3500-1 いなっせ 3階
事業区分	②リニア中央新幹線の開業を見据えた移住・定住の推進
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,119,499円 (うち支援金: 2,473,000円)

### 事業内容

市町村それぞれが切磋琢磨して移住定住事業に取り組むことを前提としながら、広域的に市町村と連携する事業の実施や、市町村間が連携を促進する役割を広域連合として実施した。

- ・ふるさと回帰フェア (9/10)
- ・銀座 NAGANO のセミナー (12/2)
- ・交流セミナーの開催 (H30/3/18)



【セミナーの様子】

### 【目標・ねらい】

- ①定住人口の増加
- ②交流人口の拡大
- ③地域の認知度向上
- ④地域の価値を高める

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①冊子やホームページによる情報発信、首都圏・中京圏における魅力発信等により、広域的に情報の拡散が出来るようになった。
- ②セミナー等における対応では、情報源として上記①のツールが見られていることを実感している。
- ③暮らしの中には職の情報が切り離せない。当事業を通じ、企業との連携が強固になることで、職に対するミスマッチを少なくしUIJターン者に寄り添った支援を行うことができるようになった。

### ※自己評価 【 A 】

#### 【理由】

- ・産学官を巻き込んだ取り組みがスタートできた。
- ・移住希望者に対し、広域エリアで生活圏を紹介できることから、より丁寧な対応がとれるようになった。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・地域の若者（子育て世代）の人口減少は歯止めが効かず減少の一途を辿っている。特に職の情報は UIJ ターン者等には必須の情報であることから、地域の企業との連携の強化を図り、若者の思いと職に対するミスマッチが解消されるよう移住定住の推進に向け取り組んでいく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある